

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 6 年 3 月 21 日 (金)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0 歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

春の自然を感じてみよう

<テーマの設定理由>

身近な事情に興味や関心を示すことが増え、戸外で過ごすことも多くなった。冬の寒さも一段落し、少しずつ季節の移り変わりも感じながら、散歩の楽しさを味わう。

2. 活動スケジュール

・春の訪れが見つかるように、目的地を選び、保育者が積極的に声を掛け、子ども達に興味や関心を向けられるようにしていく。
--

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・散歩車 ・散歩リュック ・携帯電話 ・ティッシュ ・ミラーレスカメラ

4、探究活動の実践

<活動内容>

・散歩車に乗り、遠出の散歩をする。 ・自然物を見たり、触って楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 散歩車に乗ることで離れたところにある、「ビューパーク」まで散歩に出かける。この日は天気も良く、子どもたちは散歩に出かけることに喜んでいた。早速、新しい散歩車に2名が乗り、他の子どもたちは保育士と手をつないで行く。 	② 途中、梅の花が丁度満開の時期を迎え、咲き誇る様子を見せる。保育士が指さす方を見て「わ～(きれい)」と言ったり、手を伸ばして触りたそうにする姿も見られた。梅の花の香りも感じてくれただろうか…。 
③ ビューパークにある、池のほとりに行ってみると、カモが4羽ほど優雅に泳いでいた。日の光が湖面に反射し、春の暖かさを感じながらしばらくカモの様子を眺める。時折、子どもが指をさして「あった！（いた）」と声を出したり、「お～」と、手を叩いて思いを表現していた。 	④ 場所を移動し、よく立ち寄る遊び場で体を動かす。遊具で遊ぶ楽しみを感じ、春の穏やかな空気の中で保育士が側についたり、見守ったりする中、好きな遊びを存分に楽しんでいた。散歩の帰りも散歩車に乗り、ほっとした表情を浮かべながらの春の風を全身に感じ、終始笑顔で帰園した。

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・気温が上昇し、春の暖かさが感じられるようになったので、散歩に出かける機会も多くなってきた。歩行が可能な子も多いが、きちんとシートに座って風景を見たり、隣に座る他児との関わりを楽しむのも良いと思った。
・散歩車を使用したことで、距離が離れた所に連れて行け、より身近に保育士と一緒に草花を見ることができるようになってきた。まだ虫は見ることはできなかったが、今後見たり触ったりできる機会をつくっていきたい。